

あけ

ふるふいーる

昨年から今年にかけて全床療養を障害者施設等入院基本料算定の一般五十八床、医療療養百九床に再編し、重度意識障害、神経難病といった重症患者の受け入れを拡大。「病棟

機能が大きく衣替えする中、職員は非常に良くなってくれている」と、三上初美看護部長。

維持など「不安いつばい」だったが、人工呼吸器装着患者の受け入れも開始するなど順調に進んだ。

三上 部長

現場を束ねるのが岩井節子看護師長。「当初は不平や不満もあった」が、要望の強かった機器整備などをメー

ンに働きやすい環境づくりに努めた結果、離脱者を最小限に抑えることができたという。

夜勤帯は看護師三人と助手一人に対応。人工呼吸器患者を常時十人前後抱えるなど、高い緊張感の中で業務に当たっている現状から、三上部長は「負担軽減を考慮せねば」と、増員を考える。

調順後も再編病棟 に最小限者脱離

岩井 節子
看護師

増員環境づくりへ、職員増え
三上部長（右）と岩井師長
働きやすい環境づくりへ、職員増え

院外研修会参加を促すなどして、スキル底上げを図る半面、再編によるモチベーション

看護部長

看護部長

▽住所 札幌市豊平区豊平六条八丁目

札幌ライ
ック病院

三上
岩井

初美
節子